

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	神奈川ビューティー&ビジネス専門学校
設置者名	学校法人横山学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
衛生専門課程	美容本科	夜・通信	900 時間	160 時間	
		夜・通信			
商業実務課程	国際ビジネス本科	夜・通信	175 時間	160 時間	
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

学校事務局に備え付け

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	神奈川ビューティー&ビジネス専門学校
設置者名	学校法人横山学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

学校事務局に備え付け

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	会社経営	2021. 4. 1～ 2024. 3. 31	経営内容等についての考察や助言
非常勤	会社経営	2021. 4. 1～ 2024. 3. 31	教育内容についての助言
非常勤	行政書士事務所所長	2021. 4. 1～ 2024. 3. 31	教育内容・経営内容についての助言

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	神奈川ビューティー&ビジネス専門学校
設置者名	学校法人横山学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
○シラバスの作成過程、内容	
<ul style="list-style-type: none"> ・年度末における次年度の教育課程、教員の担当課目決定を受け、必修課目、選択課目等、すべての課目について3月に各担当教員がシラバスを作成。 ・シラバスには、指導教員名、教材、学習目標、成績評価方法、指導内容の年間授業計画を記載している。 	
○シラバスの公表時期	
<ul style="list-style-type: none"> ・このシラバスは、新年度開始オリエンテーション時(4月)に学生に配布。 ・申し出があれば本校にて閲覧可能。 	
授業計画書の公表方法	学校事務局に備え付け
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
<p>授業計画(シラバス)に定める成績評価の方法・基準のとおり、学習成績の評価は、筆記試験(100点満点とし、60点以上合格、60点未満不合格)によって行う。最終評価点は5段階表記「5優・4良・3普・2やや劣る・1劣る」となる。実習をとまなう教科科目については、実習の成績によって修了を認定することができる。履修に必要な条件(試験結果、出席状況等)が満たされなかった場合は補講により、追試験、レポート等による適正な評価を行った上、修了とする。</p>	

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>成績評価において、授業計画(シラバス)等に定める成績評価の方法・基準のとおり、客観的指標の算出方法を用いて、学生の成績の分布状況の把握を行っている。学修到達度を客観的に数値化し評価することにより、学生の学修意欲を高めるとともに教育の質の向上を図ることを目的とし、適切に実施している。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>学校事務局に備え付け</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>所定の教科科目及び所定の単位数または授業時間数を履修し、その成果が修了認定すべきものと認められる場合、卒業認定をする。学費が完納されていない場合は、原則として卒業を認めない。</p> <p>学年ごとに必修単位数を取得し、卒業時までに全科目を履修したことを学校長が適当を認めた者は卒業となる。</p>	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>学校事務局に備え付け</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	神奈川ビューティー&ビジネス専門学校
設置者名	学校法人横山学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	学校事務局に備え付け
収支計算書又は損益計算書	学校事務局に備え付け
財産目録	学校事務局に備え付け
事業報告書	学校事務局に備え付け
監事による監査報告（書）	学校事務局に備え付け

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生		専門課程	美容本科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	2010 単位時間/単位	510 単位時間 /単位	180 単位時間 /単位	1320 単位時間 /単位	2010 単位時間/単位	
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
80人	10人	0人	4人	13人	17人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 学修相談に関しての指導助言は、直接担任へ相談する個人面談の体制を整備している。 各カリキュラムにおいて小テストや演習を実施し、理解や習得度を確認している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
9人 (100%)	0人 (0%)	9人 (100%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等） 美容室、まつ毛エクステンションサロン、ネイルサロンなど			
（就職指導内容） 求人票の見方、面接指導、年金、社会保険・税金全般指導、企業サロン説明会およびアドバイス			
（主な学修成果（資格・検定等）） 美容師国家試験、公益財団法人JNECネイリスト技能検定試験3級、ABEまつ毛エクステンション、パーソナルカラー検定、色彩検定3級、ヘアケアマイスタープライマリーコース、アリミノメイクアップスクール認定証			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
20人	4人	20%
（中途退学の主進路変更、家庭事情な理由） 進路変更、家庭事情		
（中退防止・中退者支援のための取組） 三者面談、個人面談		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		専門課程	国際ビジネス本科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1715 単位時間/単位	1365 単位 時間/単位	単位時間 /単位	350 単位 時間/単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			1715 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		25人	25人	4人	3人	7人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 学修相談に関する指導助言は、直接担任へ相談する個人面談の体制を整備している。 各カリキュラムにおいて小テストを実施し、理解や習得度を確認している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
（主な就職、業界等） なし			
（就職指導内容） 求人票の見方、面接指導、年金、社会保険・税金全般指導、企業説明会およびアドバイス			
（主な学修成果（資格・検定等））			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
35人	21人	60%
(中途退学の主進路変更、家庭事情な理由) ビザ資格変更不許可(19人)、進学(1人)、就職(1人)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個人面談、ビザ資格変更手続援助(留学生)		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考(任意記載事項)
美容本科	100,000円	528,000円	840,000円	実習費、施設充実費、教材費
国際ビジネス本科	100,000円	550,000円	210,000円	教材費、施設設備費、維持費
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援(任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 学校事務局へ備え付け		
学校関係者評価の基本方針(実施方法・体制) 年に一度の自己点検自己評価を行い、各部門の改善点を明確にし、学校関係者評価者へ確認、評価結果を校長含む教職員会議にて報告、次年度の学校運営に反映していく体制をとっている。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
株式会社ケンジ KINAMI GROWING COMPANY 取締役本部長 関 雅一 様	令和4年4月1日～ 令和6年3月31日	関係企業委員
株式会社ケイキューブ 代表取締役社長 西原清隆 様	令和4年4月1日～ 令和6年3月31日	関係企業委員
美容室 green 代表 石田由美 様	令和4年4月1日～ 令和6年3月31日	卒業生
学校関係者評価結果の公表方法		

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 学校事務局へ備え付け
第三者による学校評価 (任意記載事項)

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.kanagawa-bbc.com/ へアクセスし、 資料請求⇒無料配布
